

○ハード対策の取組内容〔平成30年度実績〕

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整
■洪水を安全に流すためのハード対策									
	河道掘削								米代川の北秋田市～大館市の流下能力の低い区間において、河道掘削(川幅の拡幅)を実施 ・H30年度は大館市長坂地区等で河道掘削および用地取得を実施
■危機管理型ハード対策									
	堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強								米代川の氾濫リスクの高い区間において、堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強を実施。H29年度は北秋田市舟場地区等で堤防裏法尻の補強を実施。H29年度をもって完成
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
	簡易水位計等の 基盤整備						<予算措置等> ・危機管理型水位計の設置位置を県管理河川減災対策協議会で確認 ・危機管理型水位計の設置完了。		・現地調査により水位計のタイプを決定し、32基設置(年度内設置・運用開始)

○ソフト対策の取組内容〔平成30年度実績〕

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整	
①住民が自ら安全に避難するための取り組み【逃げ遅れない】										
■リスク情報の周知や防災教育・訓練等に関する事項										
防災訓練	1	<p>(米代川流域内合同危機管理演習) ・大規模洪水を想定し、関係機関の防災システムやタイムラインを活用した、実践的な訓練の実施</p> <p>(防災訓練) ・大規模水害を想定した住民参加による防災訓練の実施</p>	<p>(合同危機管理演習) ○「情報伝達方式」 ・6月6日「洪水対応演習」(国交省)で、協議会各機関参加により情報伝達を実施 ○「タイムラインの深度化」 ・北秋田市、大館市とタイムラインの深度化(ワークショップを開催し、深度化を図る) ⇒ 1/18北秋田市事前説明会・2/14ワークショップ開催 2/14大館市ワークショップ開催</p>	<p>(総合防災訓練) ・5月24日 ・大雨により米代川が増水し堤防越水が予想される中で地震発生による津波発生を想定した総合防災訓練を実施 ・約550名</p>	<p>(県民防災の日訓練) ・5月25日 約880名 ・米代川洪水及び直下型地震を想定した住民参加による防災訓練を実施 (秋田県総合防災訓練) ・9月2日 84団体、約1,600名 ・米代川洪水及び直下型地震を想定した住民参加による防災訓練を実施</p>	<p>(大館市総合防災訓練) ・11月11日 30機関、約400人 ・数日來の大雨による河川増水後の地震を想定した総合防災訓練を実施。防災関係機関と地域住民が災害発生時の応急対策について実践的な訓練を実施</p>	<p>実施なし (鹿角市総合防災訓練を9月30日に予定していたが、台風24号の接近に伴い中止とした)</p>	<p>(秋田県総合防災訓練) ・9月3日大館市で実施 ○地震を想定した避難所開設、医療救助等を実施 ○大雨災害を想定した堤防補強訓練を実施 (支援) ・市町村主催の水防訓練への支援(開催場所の提供、水防資材の貸与) ・防災訓練に参加</p>	<p>(秋田県総合防災訓練) 9月2日 北秋田市 防災関連ブース出展</p>	<p>【継続】(支援) ・9月2日 秋田県総合防災訓練(北秋田市で災害対策車両の展示及びパネル展を実施</p>
	リスク情報周知	2	<p>・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表</p> <p>・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知</p>	<p>平成28年度に作成・周知済 出前講座、防災フェアなどでハザードマップの周知活動を実施</p>	<p>・浸水想定区域内の公共施設等へ想定最大規模による浸水想定区域図を作成し周知</p>	<p>・ハザードマップの修正</p>	<p>・ハザードマップの修正を検討</p>	<p>(区域図作成) ・完成 三種川 ・作成中 米代川、長木川、下内川、綴子川、小猿部川、藤琴川</p>		<p>これまでの浸水想定区域をH28に米代川、H29に藤琴川、小猿部川を見直し、公表済み。併せて氾濫シミュレーションも公開済み。</p> <p>ハザードマップを作成する際に必要となるデータ(浸水想定区域)の提供等</p>
防災教育・広報	3	<p>・教育機関等と連携し、小学校等への「出前講座」の拡充実施 ・「就業体験」や「現場見学」など、いろいろな機会を利用した防災講話等の実施(近年の災害を意識した講座)</p>	<p><出前講座> [小中学校] ・5月～11月 5校・延べ12回 ・避難訓練、防災講話を実施 [自治会等] ・4月～3月 延べ33回 ・避難訓練、防災講話を実施</p>	<p>(出前講座) ・4月～3月(8回) ・町内会など8団体・約223名 ・防災に関する出前講座を実施 ・小学校の防災キャンプの実施支援</p>	<p>(出前講座) ・4月～3月(15回)町内会など15団体・約533名 市の防災計画、危険箇所、避難方法などについて、市民等に周知 ・小中学校の防災キャンプの実施支援</p>	<p>(出前講座) ・9月～10月(5回) ・高等学校1回、自治会等4回 ・防災に関する出前講座を実施</p>	<p>・防災士を自主防災アドバイザーとして自主防災組織へ派遣 ・自主防災組織のリーダー等を対象とした自主防災組織育成指導者研修会を県内6市町で開催</p>	<p>(教育委員会と連携した学校安全外部指導派遣事業) ・自然災害全般に関する講話を随時実施(学校安全・防災教育研修会) ・平成30年度 安全管理指導者研修で県内教職員に防災気象情報の利活用に関する講義を実施</p>	<p>(防災教室－教育機関との連携) ・森吉山ダム見学会で合川小学校3年生へ防災講話(10/3) (出前講座) ・「防災」をテーマとした出前講座を実施 【能代第一自主防災組織(9/30)】</p>	
	土地利用対応	4	<p>・流域住民の防災意識向上を図るため、イベント等での広報・啓発活動の強化</p>	<p><パネル展示等> ・ハザードマップ、避難の心構えなどの啓発を実施 ・7月 健康展 ・10月 のしろ産業フェア2018</p>	<p>・各種防災訓練等において防災意識の向上を図るとともに防災フェアを開催しパネル展示等による広報・啓発活動を実施 ・講座及び訓練参加者へ備蓄食料品の提供等を実施</p>	<p>・イベントや出前講座の際に登録制メールへの登録の呼びかけを行うなど、広報・啓発活動を行った</p>	<p>・要望があった自治会及び自主防災会に出向き防災訓練を実施した。 ・4月～11月(29回)-1,269名</p>	<p>【継続】 <減災対策協議会資料の情報提供> ・引き続き県管理河川減災対策協議会の資料を県のホームページで随時更新のうえ、県管理河川の現状や課題、対応方針等の情報を提供</p>	<p>(広報活動)－「お天気フェア」 ・7月7日実施予定であったが大雨対応が込まれたため中止</p>	<p>(広報－パネル展示) ・各種イベントでパネル展を実施 大館きりたんぼまつり(10/6～8) 能代市産業フェア(10/13～14) きみまちの里フェスティバル(10/20～21) 北秋田市産業祭(10/27～28)等</p>

：支援

○ソフト対策の取組内容〔平成30年度実績〕

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整
■発災時の迅速かつ確実な避難に関する事項									
	防災計画	5 ・住民目線のタイムラインの作成と改善(市独自を含む)	・洪水発生後は検証しタイムラインの見直しを検討	・作成したタイムラインと実際の災害時の行動の調整を行い、見直しを検討	・災害時に対応を行う庁内各課を対象としたタイムラインワークショップを行い、タイムラインの深度化を図った	・初動体制マニュアル及びタイムラインの修正	【継続】 ・タイムラインの作成 ・H29年度末にタイムラインを作成。必要に応じて見直し。	・県官管理河川タイムライン作成支援	【関連】 ・(防災体制の改善) ・北秋田市、大館市との合同ワークショップにおいて、水害時の実施項目・実施に要する時間を追加
	情報提供	6 ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充 災害情報メール、緊急速報メール、防災ラジオ など	・避難勧告等の発令や避難所開設情報等は防災行政無線、災害情報メール等で随時周知 ・早川水門(悪土川)の閉鎖状況について、悪土川流域自治会へ電話連絡するとともに防災行政無線で周知	・新たな情報伝達手段として、防災ラジオを配布するとともに災害情報メール等で随時周知	・電話並びにFAXへの緊急時情報の配信が可能になった登録制メールを活用し、災害情報などを住民に周知	・防災ラジオ、防災メールを活用し、災害情報などを住民に周知	・Lアラートによる避難勧告等の配信訓練を実施(5月24日) 【継続】 ・「河川砂防情報システム」によるリアルタイムな水位情報等の提供	・国土交通省による指定河川洪水予報の氾濫危険情報、氾濫発生情報の緊急速報メール運用開始	【継続】 ・水防警報・洪水予報配信(随時) ・ホットラインによる情報提供(随時)
		・洪水時の情報を入手しやすくする。気象情報発信時の「危険度色分け」や「警報級の現象」等の改善						・防災気象情報の改善 5月30日 最新の災害データを基に大雨(浸水害)、洪水の注意報・警報基準の見直しを実施	

②災害時に人命と財産を守る水防体制の強化【備える】

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する事項									
水防体制		・水防団等との重要水防箇所の巡視(市独自を含む)	(合同巡視) ・国土交通省が開催する重要水防箇所合同巡視に参加7/31	(合同巡視) ・6月5日 国が開催する重要水防箇所合同巡視に参加	(合同巡視) ・5月18・21日 県及び市管理河川について関係機関が合同で巡視・点検を実施 ・6月22日 国が開催する重要水防箇所合同巡視に、市長及び市の消防機関が参加	・大雨に関する気象情報の発表時に消防本部にて重要力所の確認	【継続】 (合同巡視) ・国が開催する重要水防箇所合同巡視に参加 ・県管理河川における県・市町村合同巡視を実施		(合同巡視) ・6/5北秋田市・6/11能代市・6/22大館市の市長の参加をいただき、市の消防機関、県(振興局)、国で重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・7/30大館市・7/31能代市・8/2北秋田市で市長参加のもと、河川愛護団体の協力により、水防担当者・地元建設業協会と合同船上巡視を実施
	7	・水防団・自主防災組織などが参加した水防訓練の実施	・6/3能代市水防訓練を実施	(水防訓練) ・6月3日 参加ー172名 ・消防団員等による水防工法実施訓練を実施	(水防訓練) ・5月27日 参加ー70名 ・消防団員等による水防工法実施訓練を実施	[水防訓練] ・5月27日 参加者170名 ・鹿角市・小坂町の合同実施 ・消防署、消防団、消防団協力事業所(2団体)、鹿角市自主防災会(8団体)が参加し、訓練を実施	【継続】<支援> ・市町村を対象に水防連絡会を開催 ・市町村の水防訓練に参加・支援	実績なし。	水防訓練時に、災害対策車両(排水ポンプ車等)の展示。
		・要配慮者利用施設等の避難確保計画・避難訓練への支援	・浸水想定区域内の福祉施設に対し避難確保計画の作成支援を実施しているが、30年度は取り組みをさらに強化し、国土交通省が行っている要配慮者利用施設講習会プロジェクトによる支援を受け講習会を実施 10/23座学方式 11/20ワールドカフェ方式	・要配慮者施設の避難確保計画の作成に対し情報提供及び助言等を実施(秋田県総合防災訓練) ・9月2日 米代川洪水及び直下型地震を想定した訓練に要配慮者利用施設も参加した	・浸水想定地域内に立地する要配慮者避難施設等を訪問し、改製後の水防法や今後の対応についての説明を行い、避難確保計画の作成や避難訓練を行うよう働きかけた	・避難確保計画の作成に伴う説明会を実施。	・避難勧告等の判断・伝達マニュアルを改訂し、市町村に対して要配慮者利用施設への水位情報の伝達、平時に置ける避難確保計画の策定等を働きかけた 【継続】<支援> ・県管理河川減災対策協議会での避難確保計画作成の手引き等の情報を提供	10月23日 ・能代市での要配慮者利用施設の避難確保計画作成のための講習会において、防災気象情報に関する講義を実施。	・能代市において、要配慮者利用施設避難確保計画作成講習会実施 前期:10/23(座学方式) 後期:11/20(ワールドカフェ方式)
	8	・水防資機材の保有状況の確認、情報共有 ・確実な水防資機材の補充	・水防活動等に必要資機材のストック状況の確認及び補充	・水防資機材の保有状況について消防本部と情報を共有	(点検確認) ・水防資機材の在庫確認や点検	・水防倉庫の定期的な在庫確認を実施	【継続】 ・5月に水防倉庫の資材を確認し、必要に応じて資材の補充を実施	【継続】 ・定期的に水防資材を確認し、不足資材の補充を実施	

③一刻も早く日常生活を取り戻すための取り組み【早期の回復】

■排水訓練、地域連携に関する事項									
排水施設	9	・排水訓練の実施に合わせた、地域住民への周知活動の実施 ・排水施設等の情報共有							(活動の周知) ・出水時対応の理解を得るため、排水作業訓練において周辺住民にお知らせし実施する。4/23能代市悪土川で排水ポンプ稼働試験実施
		・大規模氾濫時の排水計画(案)を作成							・排水計画作成に必要な基礎資料を収集整理 ・米代川流域で優先順位の高い部分(市街地部分)から計画を作成
自治体間連携	10	・自治体間相互連携(流域共助)の強化(受け入れ体制強化)	・米代川減災対策協議会等への参加	(県総合防災訓練) ・9月2日 秋田県総合防災訓練で、国、県、近隣自治体及び防災関係機関と連携した訓練を実施	・9月に行われた秋田県総合防災訓練に参加し連携を深めた ・米代川減災対策協議会等での情報共有を図っている	-	-		

: 支援